

名 称	三次元振動台装置								
設置場所	振動実験施設								
管理部門	耐震研究グループ 振動チーム								
完成年月	平成9年3月								
制作会社名	(株)日立製作所								
勘定区分									
概 要	<p>テーブルの大きさが8m×8mの振動台です。 最大加速度2Gで任意波形の加振ができ、6自由度(X、Y、Z軸方向とその軸周りの回転方向)の動作をするものです。 例えば、兵庫県南部地震の地震波形を再現することができます。</p> <p>[ハイブリッド振動実験装置] 模型を使った振動台実験と数値解析によるシミュレーションを連成させることにより、構造物の一部だけを使って対象とする構造物全体の地震時挙動を再現することができます。</p>								
使用例	<p>大規模地震時における振動を再現することにより、地盤及び各種土木構造物の耐震性を実験的に調査・研究できる実験施設である。</p> <p>また、三次元大型振動台による振動実験と数値解析をリアルタイムに統合し、構造物の一部のみをした供試体を用いて、全体の地震時挙動をシミュレートする振動実験装置がハイブリッド試験装置である。</p> <p>具体的な実験例としては、RC橋脚、免震橋、橋梁基礎、コンクリートダム等の振動台実験を行っています。</p> <p>また、貸出し等においては、木造住宅等による振動台実験を行っています。</p>								
使用電力および 消耗品等	<p>使用電力</p> <table><tr><td>暖機運転時</td><td>約</td><td>700</td><td>kw</td></tr><tr><td>加振運転時</td><td>約</td><td>1200</td><td>kw</td></tr></table>	暖機運転時	約	700	kw	加振運転時	約	1200	kw
暖機運転時	約	700	kw						
加振運転時	約	1200	kw						